

第4回 2025年大阪・関西万博 成果検証委員会
議事概要

日時：令和8年6月5日（金）～令和8年6月10日（水）

場所：書面審議

<議事次第>

パブリック・コメントを踏まえた報告書（案）について

<配布資料>

資料1 議事次第

資料2 大阪・関西万博 理念継承とレガシーの発展に向けて（報告書）（案）に対する意見募集の結果について（案）

資料3 パブリック・コメントで指摘された諸課題について

資料4 報告書（案）

<議事概要>

○第3回委員会において、「今後に向けてはオンライン手続きに慣れておられない方々が多いシニア層も含め、誰もが申し込みやすい仕組みに改善するということについて、ぜひ明記していただきたい。」と発言した。今回の第4回委員会における資料では、そのことを踏まえて2箇所、追記いただいております。【西尾委員】

○今回の「成果検証」が課題の掘り起こしに踏み込まなかったことについては、パブリック・コメントで寄せられた多くのご意見に重なる問題意識を持ってきた。本委員会はたしかに、日々の具体的なエラーを個別検討する場ではなく、ありえたとすれば、より大きな問題（開催目的の設定や構造的な諸課題）の検討であろう。もとより報告書（案）末尾には「一連の課題についての検証は博覧会協会をはじめ、様々な主体において実施されているが、これらは後継組織にも引き継がれ、次期博覧会等への運営ノウハウの提供等の形で活かされていく」と書き込まれている。しかし、現状では問題意識の存在が伝わりにくく、よりわかりやすい形で盛り込んでおきたい。

寄せられたパブリック・コメントにある「参加していた国・地域へもなるべく早くアプローチし、彼らとしての大阪・関西万博についての総括を聞いていただき、彼ら目線のコメントも報告書に盛り込んでいただけませんか？」に同意する。実際には各国の意見を聴取したと伺っているが、公表資料への掲載例がわずかにとどまっているのは残念。広く公表できないのであればその理由を示し、各国意見を今後どう活かしていくのか、報告書内の然るべき部分に記載してほしい。【佐野委員】

<審議結果>

委員・関係者からの意見を踏まえ、報告書を一部修正の上、公表することとした。

（以上）

（参考）

<出席者>

委員（五十音順・敬称略）

十倉 雅和 2025年日本国際博覧会協会 会長 <座長>

池坊 専好 華道家元池坊 次期家元

五神 真 理化学研究所 理事長
佐野 真由子 京都大学大学院 教授
西尾 章治郎 国際高等研究所 所長
藤本 壮介 大阪・関西万博 会場デザインプロデューサー
藤原 紀香 日本館 名誉館長
宮地 純 リシュモンジャパン合同会社 カルティエ 前プレジデント&CEO
山極 壽一 総合地球環境学研究所 所長

関係者

吉村 洋文 大阪府知事
横山 英幸 大阪市長
松本 正義 関西経済連合会 会長
鳥井 信吾 大阪商工会議所 会頭
小林 健 日本商工会議所 会頭
國部 毅 2025年日本国際博覧会協会財務委員会 委員長
石毛 博行 2025年日本国際博覧会協会 事務総長